

デジタルデータ出稿の詳細

- 1) 原則として 3.5 インチ FD ディスク : 1.4MB フォーマット又は CD-R で投稿する。
- 2) 使用ソフトから出力したプリントをつける。
- 3) ディスクに論文題名、著者名、使用 OS、使用ソフト名とそのバージョンを記入する。
- 4) ファイルには拡張子をつける。
- 5) **本文** : WORD または一太郎で作成したファイルはそのまま提出。それ以外は RTF 変換したファイルまたはテキスト変換したファイルをつける。本文中に図、写真や表の挿入箇所を明記し、それらの説明も入れる。
- 6) **図** : Excel、PowerPoint、Illustrator で作成した場合は元データをそのまま添付する。それ以外のドロー系ソフトのデータは PDF にするか、または原寸で 600dpi 以上の画像にする。Illustrator に配置する場合も解像度の低い画像は不可。
- 7) **写真** : Photoshop、JPEG、TIFF、BMP、PICT、EPS 形式のデータ。原寸で 350dpi 以上が必要。
- 8) **表** : Excel で作成したデータが望ましい。それ以外は RTF 変換したファイルまたはテキスト変換したファイルをつける。
- 9) **サイズ** : 図、表、写真は、縮小率 (左右〇〇cm) など仕上がりサイズを明記する。特にこだわりがない場合は省略可。
- 10) **注釈** : WORD 使用の場合は、WORD の注釈機能を使う事が望ましい。
- 11) すべてのデジタルデータ原稿はアンチウイルスソフトを使用して、ウイルスに感染していないことを確認する。

引用文献の表記ルール

- 1) **雑誌の表記順** : 著者名 (発行年) : 論文表題. 雑誌名, 巻, 最初-最後頁
- 2) **単行本の表記順** : 著者名 (発行年) : 書名 (編者名). 版, 出版社, 発行地, 最初-最後頁
- 3) 和文書の場合は、最後に日本暦年を入れる
- 4) 英文書の場合は、書名および雑誌名をイタリックにする
- 5) 雑誌の場合は、巻数をゴシックとする
- 6) 雑誌の場合は、以下の表記例に従う
 - 1) Bross, P. and Wolf, A.T. (1957) : Tumors of the minor salivary glands. *Oral Surg Oral Med Oral Med Oral Pathol*, **10**, 530-539.
 - 2) 伊藤大吉, 植田 学 (1958) : 歯槽膿漏症に関する研究, I. 成因に関する研究. 阪大歯学誌, **8**, 15-22, 昭和 33.
- 7) 単行本の場合は、以下の表記例に従う
 - 3) Holland, G.C., Evans, K. and Goldstein, E. (1953) : *Problems in dental local anesthesia* (McManus, P.R., editor). Ed. 2, ABC Co., New York, 123-134.
 - 4) 須崎一郎 (1957) : 伝達麻酔法 ; 口腔治療学 (山本五郎, 水木 孝編). 5 版, 小川書房, 東京, 24-40, 昭和 32.